



関西大学  
体育会野球部

# 奪首×Dash! 第24号

2016. 1



## TOPICS

- ・新幹部ご挨拶
- ・秋季リーグ戦結果報告
- ・秋季新人戦結果報告
- ・石田投手 30 勝達成
- ・編集後記



KANSAI UNIV. BASEBALL TEAM

# 新チーム発足！ 「浪男～覇業への挑戦～」



左から、玉木、安井、松山、藤井勝

秋季リーグ戦を終え、新幹部が決定致しました。

- 主将 松山 和哉（総情3・PL学園）
- 副将 藤井 勝利（政策3・倉敷商）
- 副将 安井 洸貴（経3・大阪桐蔭）
- 主務 玉木 怜人（経2・北稜）

また、スローガンは「浪男～覇業への挑戦～」に決定しました。礼儀正しく、落ち着いたのある行動をする、しかしやるときはきちんとやる、という意味が込められています。このスローガンの下、「全国制覇」達成に向けて新チーム115名で気持ちを新たに練習に励んで参ります。

この度、主将を務めます松山和哉です。101代目の主将ということで、プレッシャーを感じておりますが、個性が強く、やるときはやる31名の同期と、後輩たちと共にしっかり責任と覚悟を持って精進して参ります。関大野球部100年の伝統を受け継ぎ、また次の100年をつくる最初の1年としてふさわしいチームをつくるために、全員で力を合わせ「全国制覇」を成し遂げたいと思います。

ご声援よろしくお願い致します。

主将・松山 和哉

新チームが始動し、選手をはじめ、マネージャー、スタッフそれぞれが、やる気十分で日々練習に励んでいます。秋季リーグ戦では、優勝争いをしたものの、惜しくも2位という結果に終わりました。昨秋の優勝という喜び、そして今季の優勝を逃してしまった悔しさ、どちらの気持ちも忘れることなく、頑張っていきたいと思います。

今後も野球部にこそ支援、ご声援の程宜しくお願い致します。

主務・玉木 怜人

# 秋季リーグ戦結果報告

順位	立命	関大	近大	関学	同大	京大	勝	敗	分	勝点
1	立命 ●●●●	○2-1 ○3-0	○9-3 ○7-1	○4-1 ○3-2	○4-2 ○5-1	○3-1 ●1-3 ○13-0	10	1	0	5
2	●1-2 ●0-3	●●●●	●0-1 ○4-0 ○4-1	○5-0 ○2-1	○3-0 ●3-6 ○2-0	○7-3 ○3-1	8	4	0	4
3	●3-9 ●1-7	○1-0 ●0-4 ●1-4	●●●●	○3-1 ●4-6 ○4-3	○1-0 ○6-0	○5-0 ○3-2	7	5	0	3
4	●1-4 ●2-3	●0-5 ●1-2	●1-3 ○6-4 ●3-4	●●●●	○2-1 ●0-5 ○1-0	○2-1 ○3-1	5	7	0	2
5	●2-4 ●1-5	●0-3 ○6-3 ●0-2	●0-1 ●0-6	●1-2 ○5-0 ●0-1	●●●●	○11-2 ○4-3	4	8	0	1
6	●1-3 ○3-1 ●0-13	●3-7 ●1-3	●0-5 ●2-3	●1-2 ●1-3	●2-11 ●3-4	●●●●	1	10	0	0

長い夏の練習と、たくさんのオープン戦を重ね、いよいよ迎えた秋季リーグ戦。初節の対近畿大学では初戦を落としたものの、2回戦、3回戦と2連勝し勝ち点を奪いました。関大の持ち味である、粘りの野球・全員野球で順調に白星を重ね、勝ち点を3とし挑んだ对立命館大学。勝てば優勝に大手がかかる大事な一戦でした。初戦は両校のエースがぶつかりあい、延長14回を戦いましたが1-2で惜敗。2回戦は、相手投手に完封され敗北を喫しました。ベンチ・スタンドでは、優勝を目前で逃した悔しさに涙を流す選手もいました。そして最終節、リーグ初の試みとなった関関同立戦では例年以上に多くの方々々が球場に足を運んで下さいました。4年生にとっては最後の試合という事もあり、「とにかく勝ちたいんだ!」という気持ちが表れ、チームスローガンである「熱くなれ」のようにベンチ・スタンドが最も熱くなった試合でした。その熱い声援に応え、2連勝。見事、関西学院大学から勝ち点を奪い、秋季リーグ戦は8勝4敗 勝ち点4 第2位という結果で幕を閉じました。

絶対目標である「全国制覇」を達成することはできませんでしたが、「勝ち」にこだわる4年生の姿勢と背中を見て、後輩たちが得るものはたくさんあったはずです。来季に向けていいスタートが切れるよう、部員一同さらに練習を重ねていきます。

## ベストナイン・投手



4年間を通して初めてこの賞を頂きました。賞を取ることができる活躍を目指してやってきましたが、ライバルたちも素晴らしく、なかなか受賞することはありませんでした。その中で、最後のシーズンにエースとして最低限の仕事ができたことは良かったと思います。

来年のエースには、賞はもちろん、優勝投手になることを期待しています。

石田 光宏(経4・近江)

## ベストナイン・外野手



長いトンネルからやっと抜け出せた気がします。諦めずにやってきて良かったです。まさかの「ベストナイン」という思いがけない名誉に身の引き締まる思いです。チャンスを与えてくださった監督、コーチに感謝し、来季に向かってより一層自らを鍛え、チームに貢献できるよう頑張ります。

これからも熱いご声援よろしくお願ひします。

杉森 友哉(人間3・大阪桐蔭)

# 秋季新人戦結果報告

11月26日(木)から28日(土)の3日間、豊中ローズ球場にて秋季新人戦が行われました。春季新人戦では関西学院大学に7-8で惜敗。試合後には涙を流す選手もあり、何としてでも優勝したい、という強い思いで臨みました。

初戦の近畿大学戦。リーグ戦での登板経験もある先発の山本(人間1・桜宮)は順調な立ち上がりを見せますが、3回に左越本塁打を浴び、1点を先制されます。関大は4回、二死から吉塚(総情2・履正社)の左前適時打で1点を返します。6回から登板した濱田(法1・東福岡)は6、7回を完璧に抑えますが、8回に味方の4失策で4点を失います。1-6と一気に突き放された関大は最終回、連続安打で満塁とし、押し出し死球で2点を追加しますが最終打者・松原(人間2・関大一)の一打は相手の好守に阻まれ、3-6で悔しい敗北となりました。

5位・6位決定戦は京都大学と戦いました。負ければ最下位。必ず勝たなければならない試合です。試合が動いたのは3回。相手の失策により1点を先制します。先発の内川(法1・関大北陽)は走者を出すものの、味方の好守で4回まで無失点に抑えます。しかし5回、二死満塁のピンチを迎え押し出し四球で1点を失い試合は振り出しに戻ります。内川に代わって登板した小住(人間1・履正社)は、後続の打者を打ち取り悪い流れを断ち切ります。そして迎えた7回。一死一、三塁の好機に4番・古川(商1・東大阪大柏原)が左犠飛を放ち勝ち越しに成功。8回には、代打・若泉(人間2・塔南)の中越適時二塁打で大きな追加点を挙げました。初戦に続き登板した濱田も8、9回をしっかりと抑え3-1で接戦をものにしました。

5位という結果に終わった秋季新人戦。春の悔しさを晴らすことはできませんでしたが、一人ひとり課題を見つけることができたのではないかと思います。この冬、今年の新入戦の悔しさを忘れず練習に励み、来春の新入戦では必ず優勝してほしいと思います！

## 新人戦主将 勝岡 静也(人間2・報徳学園)

春の新入戦では優勝できなかったので、秋は絶対に優勝するという気持ちで全員が試合に臨みました。しかし、初戦で負けてしまい、自分たちの力のなさを痛感しました。この悔しさを価値あるものにするのは自分達次第です。来年のリーグ戦へ向けてこの敗戦を活かし、レベルアップして神宮大会へ出場できるように日々精進します。

たくさんのご声援ありがとうございました。



## NEW☆HERO

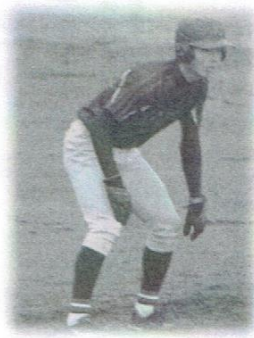
未来の関大野球部を担う新たなヒーローを紹介します！  
今後の成長にご期待ください！

☆濱田 駿  
(法1・東福岡)



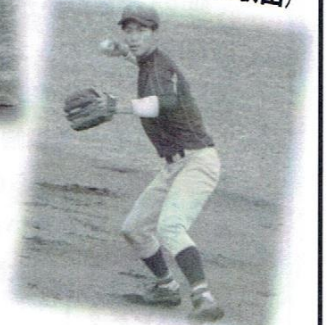
☆吉塚 洸平  
(総情2・履正社)

☆吉田 潤歩  
(社1・比叡山)



☆若泉 洸仁  
(人間2・塔南)

☆阪本 将太  
(法2・智辯和歌山)



# 祝 30 勝！ 史上 10 人目の快拳達成！

関大野球部を支えてきた大エース石田光宏が 10 月 24 日（土）の対関西学院大学 1 回戦にてリーグ発足以来 10 人目、25 年ぶりとなる大学通算 30 勝を達成しました。

この試合では、圧巻の投球で隙を与えず 9 回無失点。打線の援護もあり、見事白星を挙げました。試合後には花束が贈呈され、スタンドには「絶対的エース石田光宏・祝 30 勝 感動をありがとう」の文字が入った横断幕が掲げられました（写真中央）。この日のために 4 年生が中心となって手作りしたものです。頼れる大黒柱・絶対的エースとして期待に応え続けました。

石田のリーグ戦初登板は、大学 1 年、春季リーグ戦対京都大学で六者連続三振と鮮烈なデビューを果たし、初勝利は大学 1 年、秋季リーグ戦対京都大学でした。そして、昨年は明治神宮大会出場の立役者として、持ち前の粘り強さとコントロールでチームを引っ張りました。神宮大会では勝利とはなりませんでしたが、「関西大学」の名前を背負いながら、全国大会という大きな舞台で見事な投球を披露しました。

4 年春はリーグ最多勝利、秋はリーグ 1 位の防御率 0.79 という好成績を収めました。



4 年間ご声援をいただき、ありがとうございました。長かった 4 年間の中では、思うような投球ができず、苦しかったシーズンがほとんどでした。

しかし、30 勝を達成した関関戦、チームメイトからの

「絶対的エース石田光宏 祝 30 勝感動をありがとう」

と書かれた横断幕を見た瞬間、苦しかったことが全て吹き飛び、感謝の思いが溢れてきました。また、この 30 勝は仲間の力で達成させてもらったのだな、と強く感じました。そんな最高の仲間の思いを背負いながら、これからも自分自身の夢を追い続けたいと思います。

石田 光宏



## 編集後記

NL24 号はいかがでしたか？

新幹部・新スローガンが決定し、気持ちも新たに日々練習に励んでいます。

今季こそ、「全国制覇」という絶対目標を結果として表せるよう、これからの冬季合宿や春季キャンプに取り組んで参りたいと思います。

これからも、関大野球部に大きなご声援をよろしくお願い致します！



マネージャー 東原 萌子（商 1・倉吉東）